

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 農業ビジネス支援課
 担当名: 農地活用担当
 内線: 4120

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B7	見沼農業活性化対策事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	見沼農業振興対策費			
事業期間	平成12年度～	根拠法令	なし			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現		SDGsゴール 2	
						分野施策	1001	みどりの保全と創出		SDGsターゲット 2-4	
<p>1 事業概要</p> <p>貴重な都市近郊緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造していく上で、見沼農業が果たす役割は極めて重要となっている。</p> <p>このため見沼農業の振興対策、支援体制の整備及び公有地化農地活用対策を講じ、見沼田圃の保全・活用・創造を図る。</p> <p>ア 農業経営指導事業 事務費の節減による減額 △1千円</p> <p>イ 公有地化農地活用対策事業 管理委託面積減少に伴う減額 △3,664千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1)事業内容</p> <p>ア 農業経営指導事業 9千円 見沼田圃における農業経営及び生産技術を指導する。</p> <p>イ 公有地化農地活用対策事業 44,145千円 公有地化農地の有効活用を図るため、公有地管理業務を農林公社に委託する。</p> <p>(2)事業計画</p> <p>ア 担い手の組織的活動の推進、栽培技術研修会等の開催、市・J A等関係機関との連携、地域農業イベントの支援</p> <p>イ 公有地化農地の適正管理</p> <p>(3)事業効果</p> <p>都市と調和した特色ある見沼農業が営まれることで、見沼田圃の保全・活用・創造に資する。</p> <p>(4)その他</p> <p>見沼田圃全面積 約1,262ha(うち農地約532ha)見沼田圃内公有地 約33ha</p> <p>(5)補正予算の概要</p> <p>ア 事務費の節減による減額</p> <p>イ 管理委託面積減少に伴う減額</p>							
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>											
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>											
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円</p>											
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額	
		繰入金									
決定額	△3,665	△3,664						△1	41,140		
現計額	44,805	44,145						660			

事業内訳書

事業名	見沼農業活性化対策事業		
単位事業名	農業経営指導事業	予算額	△ 1千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△1	—	事務費の節減による減 △1千円
合計	△1	—	

単位事業名	公有地化農地活用対策事業	予算額	△ 3,664千円
-------	--------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△3,664	—	農地管理面積の減少による契約金額の減 △3,664千円
合計	△3,664	—	